

謹賀
新年

縦と横、各会も努力、協力して
一手一つになっていきましょう！



中田表統領先生教区巡回 12月2日

北海道
教区報

第555号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190

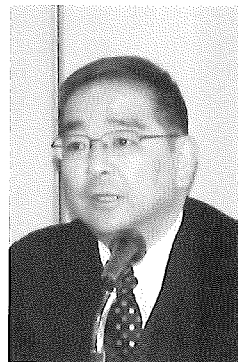
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

表統領先生教区巡回

「それぞれの違いを超えて信仰でまとまって進もう」



12月1日、2日にかけて、表統領・中田善亮先生が「来道、ご来庁ください」それぞれ教会を持ちながら教区・支部活動の先頭を歩んでいる主事、支部長さん方をお労い申し、ご意見も伺いたい」と懇談会がもたれた。

表統領は挨拶で「二代真柱様は、お道の3本柱として、神一条の精神・ひのきしんの態度・一手一つの輪を掲げられた。その中、一手一つの輪は一人ではできないもので、縦や横などあるが、支部の中で造り上げてい

くもの思っている。そこでそれぞれの違いを超え、唯一ご恩報の信仰だけでまとまっていける。年限を重ねてきて教会も活動は様々で、いたずらに力をなくしているのが現状のように思える」と述べ、570支部で一斉に努力し協力して、オール天理として一つになっていこうと話された。その後、支部長が組に分かれて練り合った課題や情報を交わす時間ももたれ、北海道は広く時報の手配りのため100キロ走る方もいるという地域性からネットを利用した会議や情報の発信の可能性など、少子化、過疎化の現状からどう歩むかなど熱い内容の懇談となった。

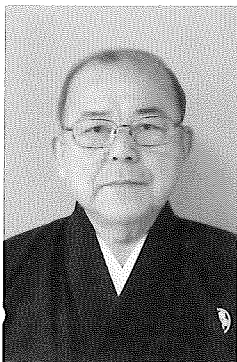
明るく大きな心で地域活動を推進しよう

教区長挨拶 西垣定洋

立教182年の新春を迎え心よりご祝詞を申し上げます。本年も宜しくお願い致します。

昨年は、北海道胆振東部大地震が起こり、多くの人々が被害

を受け、また全道の広範囲で大



停電となり、日々の生活がままならない状態となりました。それ以外にも、年の初めからの豪雪、低温、大雨等の天候不順により作物にも影響が出て厳しい一年であったと思います。

またお道では、親である真柱様に大きなご身上のふしをお見せいただきましたことは、一人ひとりが信仰の原点に立ち返り、改めてちば一条の心を定めてつとめることの大切さをお促し下されているものと思案いたします。

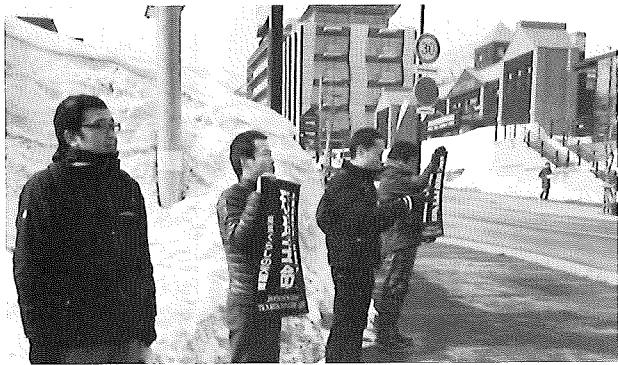
私達の信仰は、身上事情を通して、陽気ぐらしの道を通る心を定め、教祖ひながたの道を自ら求め歩んで、親に安心し喜んでいただけるよう実践していく道であります。

毎日つとめるおつとめに心を込め、やさしい心で人に寄り添いおたすけに励み、常にひのきしん精神を發揚し、共に明るく一手一つの心となって、今年も教区・支部活動にお励み下さいますようお願いいたします。

今年も一人でも多くの人をおちばにお誘いし、互いに声をかけにいがけに歩きましょう。どうぞ明るく大きな心となって、勇んで道の御用に勤めさせて頂きましょう。

よろしくお願いいたします。

北海道教区のホームページ <<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>> 教区報がご覧頂けます。



新年あけまして

本年もどうぞ

よろしくお願ひ申し上げます

北海道教務支庁各部各会役職員一同

平成最後の年に想う

総務部・高橋政嗣

謹んで新しい年の寿ぎを申し上げます。

平成はいよいよ終わりとなり、新天皇のもと新しい年号となりました。私共のつとめ方、通り方は変わるものではありません。陽気ぐらしの世界実現に向

かつて今年も精一杯つとめさせていただきます。

思い返せば、昭和五十六年に

支部長を拝命致し、歴代の教区長様の元で、微力ながら役職を勤めさせて頂いて参りました。三月末を以って、勇退させて頂く事となりました。私の人生の半分が、教区支部活動に関わっていた事となります。その間、大過なく勤めさせて頂いた事は、皆々様のお力添え、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

現代の難渋に

寄り添う活動

福祉厚生部・伊藤逸雄

我が教団は立教以来、その時代、時代の難渋をたすけて進んできた。

明治の頃は貧困であるがゆえに起こってきた様々な難渋。

大正、昭和時代では恐ろしい結核、戦争、癌等々の難渋。

では、現代の難渋は何か？と問われると、家庭崩壊であろう。家庭崩壊のために起こる様々な難渋。育児放棄、幼児虐待、青少年犯罪（犯罪そのものは五十年前から比べると半数となっているが、少年犯罪は増えている）行き場を失った老人達、薬物事犯者（家庭崩壊のために手を出す青少年達）、家庭内殺人事件（全殺人事件の半数を上回る数になっている）。

これらの現代の難渋たすけを進めている部署が、福祉厚生部であります。教誨師、篤志面接委員、保護司、民生児童委員、里親、献血、肢体障害者連盟、視覚障害者連盟、聴覚障害者連盟、点字、手話、子ども食堂、ひのきしんスクール、結婚相談室、一円玉募金、等々の活動がございます。

又対外的にも、多くの国の機関と関係をしております。各刑務所、裁判所、児童相談所、保護観察所、日赤、自治体、施設、政府機関等々、外に向かつての活動も多く、にをいがけを対外的に大きくすすめる部署でもあります。

今年も福祉厚生部にお心寄せ頂きますよう、お願ひ申し上げます。

地域活動の

重要性と必要性

布教部・美田伸一

昨年は布教部活動の上に、特段の御丹精を賜り誠に有難うご



ございました。

現在は、人材の育成を強く押し進めなければならぬ旬であります。人材の育成については、若い世代だけではなく、そ

先人達のおちびがえりの

心を受継ぎ

輸送部・笹田道継

今、私達の歩みは、お道を取り巻く内外の様々な節を乗り越え、にをいがけ、おたすけを通して親の望みに応えられる人

の先の世代の丹精も必要です。

お道は陽気ぐらし世界の実現を目標に通らせて頂いておりますが、その心は親神様を親と慕う人間が、一列兄弟として互いに助け合い睦み合う、一家団欒の姿であります。その陽気ぐらし世界の実現に向かって、世界たすけに邁進することは教会の使命であり、教会長をはじめようほく信者は土地所で、これを実践し、陽気ぐらしの手本を示さなければなりません。その意識の上から、陽気ぐらしの世界建設に立ち働く人々を育てることが大切であり、丹精が必要です。本年は従来の活動を一層強化推進し、人づくりの上に地域と共に努めてまいります。地域活動の重要性と必要性の上から、教区管内の皆様のお力添えの程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

材育成を進めなくてはならない時句にあると言えます。

それ故その活動は親神様の思召しを伝えられるようほくになつて頂くべく、おちびで開催される行事に様々な人達を参加させたいというのであれば、どうしても「おちび」へとお帰り

頂かなければなりません。
 この道の初め、私達の先人先輩は、遠い「おぢば」まで何とか帰るべく、食うや食わずの生活をも顧みずおたすけで得た御供を元に、汽車に連絡船へと乗り込み「おぢば」を目指しました。

私の祖父は旅費を少しでも減らす工夫を考えた末に「汽車に三等列車があるなら、それに乗りたい」と言っていたそうです。当時「おぢば」まで2日も3日もかかった時代、弁当も持たず水だけを飲んで通った先人の、この心を受け継ぎ「おぢば」に帰らせて頂くありがたさを本当に噛みしめているでしょうか。暮らして豊かになり輸送費用も時間もかからなくなった現在、「おぢば」へと帰る人が増えたかと言えばそうともならず、むしろ減っているのが現実であります。

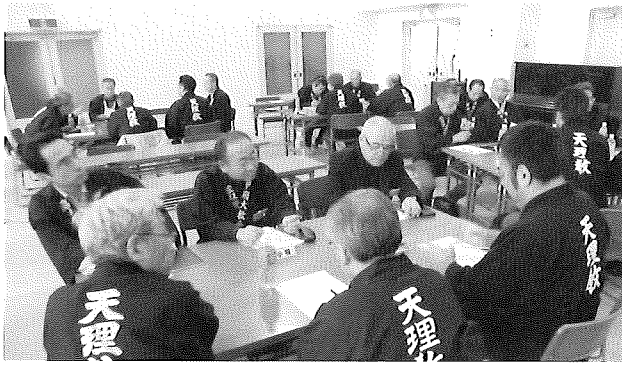
輸送方法はより利便性と快適性を求めるのは当然のこととして時代は進んでゆくであります。しかし「おぢば」に何としても帰って頂きたいという我々の熱意がなければ、どんなに安く速い輸送が可能になったとしても、それは宝の持ち腐れになってしまいうでしょう。

輸送は手段であり、にをいかけ、おたすけを通して「おぢば」にお帰り頂き親神様の思召を心に治めて頂くことが目的であると分かっていながら、どこかで本末を転倒しているところがなにかを確認しながら、輸送体制に対するご意見を頂戴し、皆様のご要望に応えられる輸送部を目指してゆきますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

情報の共有と

「天理時報」の増部を文化広報部・加地道喜

全教一斉ひのきしんデーの会場一瞥が、来年より『天理時報』



に掲載されなくなります。それに代わって、インターネットの普及を踏まえて、お道のホームページに掲載し、活用してもらいたいとのことでありました。

「天理教」「布教部」「教区」支部情報ネット」など）

これについて、特に信者さんへの丹精、連絡などに、インターネットを利用できない教会長はどうしたらいいのかとの声も上がりました。が、十二月二日の表統領と支部長との懇談会の席上、表統領から、会場一覧を作成するに当たり、確認と打ち込みという膨大な作業をする人員の問題、また予算措置の問題など、丁寧な説明を頂きました。奇しくも、懇談会後の教区予算会議にて、西垣教区長がこの問題に触れ、「御本部の苦渋の決断ゆえ、今後は、ひのきしん会場一覧を自ら探し、信者を丹精させて頂くと思う」と話されました。

各支部におきましても、教会長同士が協力し合い、たすけ合いながら情報を共有し、信者の丹精の上に、より力を合わせて、本年も邁進させて頂きたく存じます。

続いて『天理時報』を信者さん方のさらなる成人の糧とし

て、購読の継続に、また増部にお励み頂くことをお願い致します。

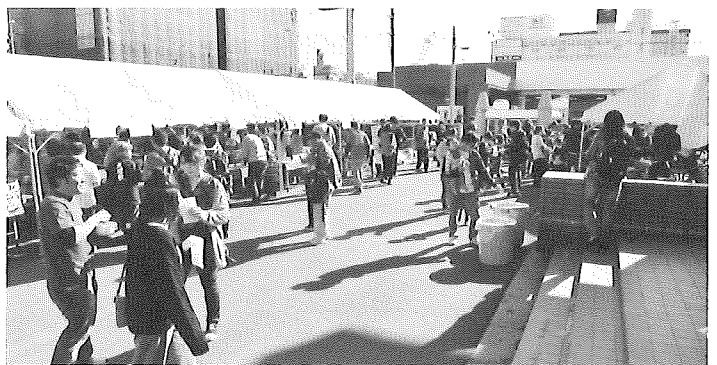
大切な人材育成の旬を迎え

教化育成部・高橋太志

教化育成部では、婦人会、青年会、少年会、学生会、学生担当委員会が今年もお道の大切な人材として活動ができるよう、各会との連携を取り、お互いがたすけあい、色々と考え工夫をしながら、活動できればと考えております。

毎年、札幌市で開催される「よさこいソーラン祭り」には、会場の清掃やインフォメーションセンターを任せられ、安全かつ楽しい祭りになるようひのきしんをさせて頂いていただいております。今年も年齢は問いませんので、多くの教友の方々のご参加をお願い致します。

昨年、「ワイワイフェス」という育成部主催の行事の中で開催しました「教区音楽祭」では、バンド演奏、教区合唱団、鼓笛隊、雅楽など管内の音楽の発表の場となりました。是非、今年も多くの団体にご参加を頂き、お聴き下さる多くの教友の皆様のご来場をお待ちしております。



ます。特に教区合唱団では団員を大募集しております。

「基礎講座」でございますが、教務支庁や地域での開催となります。日程などは教区報や教区のホームページをご参考にして頂ければと思います。

どうか縦の伝道・横の布教にご活用下さいますようお願い申し上げます。

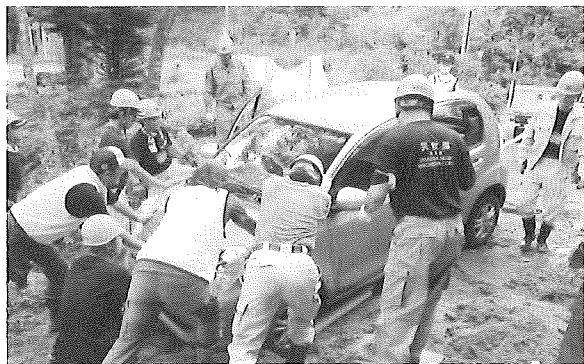
最後に、各支部でも育成部あるいは育成の担当者を決めいただき人材育成のうえで共に連携を取ればと考えております。本年もよろしくお願い致します。

社会への大きな

にをいかけ

災救隊・奥村尚人

昨年は胆振東部地震被災地で



の活動に、ご支援賜りましたことを篤くお礼申し上げます。一昨年道内各地域で災害関係の会議が行われ、有事に於いての天理教の活動を関係各所に認識いただいた矢先の震災で、要請、出動につながりました。災救隊は災害の起きないよう、日々のひのきしん活動(布教)の推進実践をモットーとしております。社会に対して大きな「にをいかけ」活動となるこうした会議も大切に、取り組みたいと存じます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



トライ&エラーを

繰り返す

青年会・北村貴久

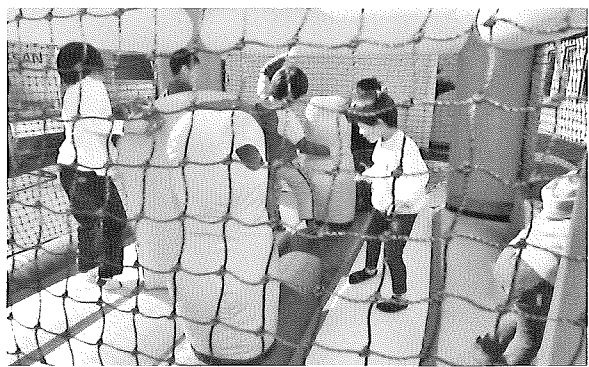
皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年中は教区、または支部青年会活動にご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。本年も変わらぬお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

さて、支部青年会活動に於いては、今委員会が提唱しておりますワイワイプロジェクトを軸に、若い世代と一緒に支部活動を推進していく土壌が、少しずつ広がっていることを実感しております。11月4日には教務支庁にてワイワイフェスを開催し、30名を超える方に教区の新しい活動を楽しんで頂きました。それもワイワイプロジェクトを通して協力体制が出来ていた事が成功の大きな要因でありました。新しい物事への挑戦は大きな勇みと喜びを頂きます。



天理教青年会は、昨年10月28日に青年会創立100周年記念総会を迎え、次なる塚へ向かって走り出しました。青年会長様は御告辞の中でトライ&エラーを何度繰り返して、どれだけ成長しているのかが大切である、と述べられました。我々、青年会員は未熟ではありますが、失敗を恐れずに挑戦していきたいと思っております。OB、先生方には、是非その挑戦の背中を押して頂きたいと思っております。



最後になりましたが、4月から教区青年会も新たな委員会での活動を進めていくことになりました。3年間、今委員会の活動にご理解頂き、誌面ではあります御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



創立110周年に向け更なる丹精を

教区婦人会 山本亨子

成人目標

「ひながたをたどり陽気ぐらしの台となりましょう」

活動方針

「ご恩報じを念じ実のようばくに育つ」

一、教えを学び身につける

一、身近な人を実のようばくに育てる

一、百万会員を目指して、においがけ、おたすけ に励む」

「創立110周年を目指して

一人が二人の会員をご守護頂きましょう」

明けましておめでとうございす。そして11月3日は、おぢばます。昨年は婦人会活動の上で女子青年大会が開催されま御真実、御協力賜りまして、誠に有難うございました。

今年も右に掲げました指針を婦人会本部より促して下さいました。今年5月から9月迄に各地域において「婦人会創立110周年会員決起の集い」が開催されま

す。全婦人会員がたすけあい、学び談じ合いながら活動方針を我が事として実行できるよう、喜んで育ての上での丹精を重ねたく思いますので、どうぞ本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

創立110周年会員決起の集い

立教183年・再来年の春に迎える創立120周年に向け、来年は全国各地で、決起の集いが開かれます。お近くの会場で、是非ともご参加ください。

- 5/1 統北分教会 (札幌市豊平区)
 - 5/3 教務支庁 (札幌市中央区)
 - 5/19 本輪西分教会 (室蘭市)
 - 5/29 胆振分教会 (むかわ町)
 - 6/1 雨龍大教会 (深川市)
 - 6/16 網走大教会 (網走市)
 - 6/23 稚内分教会 (稚内市)
 - 6/30 北明分教会 (函館市)
 - 人舞分教会 (十勝清水町)
 - 上川分教会 (旭川市)
 - 夕張大教会 (岩見沢市)
 - 7/14 教務支庁 (札幌市中央区) 13時と18時の二回。
- ※開会時刻・いずれも13時から。
7/14教務支庁だけ昼夜二回。
対象・婦人会員、16歳以上の女性。



育てる者が育つ努力

教区学生担当委員会

笹田弘行

旧年中は、有形無形のお力添えを賜り誠にありがとうございました。今年も我々学生担当委員会一同は、学生に将来お道を担って行けるよふばくへと育つてもらえるよう、一生懸命丹精させて頂きたいと思っております。



さて、昨年の春季大祭において真柱様は、かんろだいの事情について、「一手一つになれとお仕込みだと感じたのであります」とおっしゃられました。「それぞれ与えられた役目について一生懸命に働いていても、ともすれば、目の前のことや自分



たちのことだけにとらわれて、お互いがつながりを欠き、一手一つになれていないのではないかとご懸念されているのであります。この事を思案させて頂いて、昨年は青年会、少年会ともお互いに協力し合って、新たな試みをしてまいりました。

育成という共通の立場に立つて、それぞれの活動はもちろんのこと、その垣根を超えて、広く長い目で各会、各部が一手一つになって活動を押し進めていき、まず育てる者が育つ努力を合言葉に、一步一步、地に足の着いた歩みを積み重ねていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

この世の中のものは神様が与えた宝庫である。神様はその宝庫を掘りおこさせる頭脳を人々に与えられた。そして今日に至る迄、科学、技術、文化の成長があつて生活は向上してきた。これは神様が見つけ出す喜び、成長する喜びを人々に与えて下さつた賜である。

しかし幸せのための掘り起しの結果、世の中には自分勝手が増し、世界も社会も家庭にも喧嘩が絶えない。人間の心も成長すべきだが、科学の発展は反面でかえつてせせら笑つているように見える。もう今日では自分の利害損得を超えた心を持つことは至難の業だと云うことか。

私が若い頃に聞いた話である。或る町にどうしようもないならず者がいたという。彼は人を痛めつけては困らせ、人の苦しんでいる姿を見てかえつて優越感に浸っているのだ。とにかく自分勝手に威張っているだけだ。

ある日、その彼が町の中の水路がそばに流れる道を歩いていた。その時、道路の少し先の方で一人遊んでいた小さな子供

があやまつて用水路に落ちたのを見た。すると彼はとつさに走つていき用水路に飛び降りて子供を抱き上げ救けたのであつた。これは本能のなす業だ。

彼は子供の親から生命の恩人ですと深く御礼の言葉を頂いた。この噂はすぐに広まり、彼

教理随想 二十七

心は変わる

木岡 昭

は町の人からも今迄と違う目で見られるようになったという。そしてさらに驚いたことにこの一件からこのならず者はならず者ではなくなつたという事であつた。

彼は人を救けて喜ばれる事がこんなにも自分を喜ばせてくれる事は出来ない。

る事を体験を通して実感したという。これを機に導かれてお道の信仰をさせて頂くようになり、彼は今迄の通り返しの人生活ませせて頂くのだと心に誓つた。そして裕福な生活ではなかつたが喜びに溢れて心底充実した人生であつたという。

これは大変よい話である。神様から分け与えられた人間の魂は本来清らかなものである。皆が仲よく暮らすために創られたのだからよい人ばかりである。それがうまくいかないのはそれぞれの心のほこりのせいである。

私達は自分の意志で生きていかねばならないので当然ほこりは積む。仕方のない事だ。そこで神様はほこりは払いなさいと教えられたのである。ほこりを払えば心は澄んで、よき事を喜ぶ心に変えて頂くのである。ではどうすれば払えるのか。それは生かされている事の自覚と感謝、人のためにつくす行い以外にはない。いくらよい考えをもつていても、また納得していても実行しないと何の役にも立たない。実行以外に心に徳をつける事は出来ない。

立教182年 (2019年) 基礎講座北海道会場

開催日程

- 3月3日 (日) 教務支庁会場
- 5月19日 (日) 教務支庁会場
- 6月9日 (日) 旭川支部会場
- 6月9日 (日) 函館支部会場
- 6月30日 (日) 宗谷支部会場
- 7月7日 (日) 教務支庁会場
- 9月8日 (日) 教務支庁会場
- 11月10日 (日) 教務支庁会場

(追加会場については、随時発表していきます。)

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でのご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭遥拝式をおこなっております。

30日 青年会支部委員長会議
12月1日 たすけ推進会議
2日 支部長会議・ブロック別練り合い
2日 表統領先生 教区巡回

訃報

- 菅生 良様 11月23日出直 (83歳) 久春内分教会長 (千恵広支部)
- 吉田 栄二様 11月25日出直 (67歳) 十勝野分教会長 (十勝支部)
- 川西ミヨ子様 11月25日出直 (91歳) 紋養分教会元教会長 (紋別支部)

北海道教務支庁日誌抄

- 11月20日 (11月20日~12月19日) 本部月次祭遥拝式
- 27日 教区長会議
- 29日 図書修理会
- 4日 予算会議
- 5日 任命願書発送
- 8日 事情願書発送
- 19日 教区報編集会議



各ブロック代表の発表に、丁寧に
お応え下さる中田善亮・表統領